

戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R2.8.25
記録者	芹澤

日時	令和2年8月25日 13:00~15:00	出席者	染川、武長、野口、伊藤、佐貫、 芹澤、宮下（由）
場所	東部福祉センター小会議室		

議題

戸田市役所 障害福祉課より「戸田市手話言語条例」について
会長報告
副会長・委員会報告
各理事・委員会報告

会議内容

戸田市役所 障害福祉課 鎌田課長 菊田様より「戸田市手話言語条例」について説明有りました。

●令和2年6月23日制定 令和3年4月1日施行。「手話も言語である」という考え方。作って終わりという法律にならないようにしていきたい。病院や薬局でも現在はご本人と手話通訳者で行っているが、今後は一人でも行けるような環境作りをしていく。染川会長、野口副会長より、「筆談をおこなっているが、筆談ではだめなのか？」との質問あり。それを否定するものではないが、「手話は言語である」ということをアピールしていきたいとの担当者の心意気あり。

●市の手話登録者は20人弱（聴覚障害者としては200人くらい）、手話通訳登録者は13人。どちらも高齢化が進んでいる（染川会長、野口副会長からの質問に対する回答）。お子様の聴覚障害者はご家族が手話を習得していたり、アプリ等で対策されていて登録は少ないとのこと。

染川会長報告

●給付金、補助金について皆が承知しているかについて確認。

●行政との会議は「書面会議」ばかりになっている。

●3師会は9月に医師会、歯科医師会、蕨地域薬剤師会と話し合っ決めて。現在ゴルフ場（鳩山ゴルフクラブ）と総会（銀座アスター）は予約済。

●コロナ禍ではあるが、理事会は今後2か月に1回ペースで開催したい、とのこと。異議なし。

武長副会長

<薬剤師連盟>

衆議院の解散総選挙予定あり。

<学校薬剤師委員会>

- ホルムアルデヒド検査実施校問題なし。
- 給食センターについて。現在外注しており、「食中毒を出さない」「(神奈川県で問題になったような) おかしなメニューを出さない」よう市がしっかり監視をしている。薬剤師会としても協力する。
- 戸田翔陽高校のとなりに特別支援高等学校ができる。準備室より薬剤師会に学校薬剤師の設置の依頼あり。戸田翔陽高校も含め、武長副会長が担当することに全会一致で承認された。それにともない来年度の「笹目小、美谷本小」をはずすので、新規に2名募集する。

野口副会長

- 埼玉県南部医療圏地域災害保健医療調整会議に出席。
- 会員の地域貢献活動のサポートについて。針の回収事業や薬物乱用防止キャンペーンを行うなどして会員の活動をサポートしていきたい。一度厚生局には質問してあるが、再度野口副会長より確認する。薬物乱用防止キャンペーンについては南部保健所に芹澤が確認をとることでこの場は了承された。

<在宅委員会>

- アンケート実施予定。研修会、情報交換会も実施予定とのこと。

<危機管理委員会>

- 災害時備蓄について議論。各理事からマスク、グローブを備蓄することで合意を得た。しかし、品薄、品切れで高価になっている今買い進めるのか、という問題があり保留となった。備蓄自体は各会員薬局で購入してもらって「ランニングストック」という考え方で備蓄在庫品が古くなってゴムが劣化した、ということの無いようにしたいという意見に一同異議なし。

伊藤理事

<学術研修委員会>

- 予定、進展なし。野口副会長より、「どういう段階になったら活動を再開するのかというルールを作っておく必要がある」との指摘あり。

<保健委員会>

- 学術研修委員会同様再開ルール設定意見あり。

佐貫理事

<薬学性実務実習委員会>

- 第2期無事終わりました。イオン薬局様のセルフメディケーション、スズケンの物流研修見送り。第3期の実習始まります。
- 「学生がPCRでコロナ陽性」の場合の対応策については、全国規模の委員会で話し合ってもらおうとのこと。ただし、学生がアルバイトなどしないように指導するなど、現場でもできるケアはやっていこうとの声あり。

芹澤理事

<総務委員会>

- 国連募金は7薬局で15015円集まった。

●来年の選挙に向けて準備するまえに、しっかり前回の反省も踏まえなければならない。より分かりやすく、より簡単なシステムでできるよう、次回理事会より検証を行ってよりよい役員選挙にするべく努力する。

決定事項

- 第7次埼玉県地域保険医療計画に沿った薬剤師会活動。
- 理事会令和2年10/27、12/15 令和3年2/16に開催。
- 笹目小学校、美谷本小の学校薬剤師募集。

検討事項

- 学校薬剤師の事業者承諾書の項目検討。
- 新たな枠組みの会員の設定と定款の変更
- 会員の地域貢献活動のサポート